



# 葉山小だより

自ら学び 考えて行動できる子  
～自律・創造・しなやかな心～

～施設分離型（葉山中学校区、南郷中学校区）小中一貫校～

令和8年度  
N O . 3  
2026.4.14(火)  
葉山町立葉山小学校  
校長 濱名恵美子

4月8日（水）、新たに66名の1年生が入学しました。黄色い帽子に大きなランドセルを背負い、わくわくした表情で登校するお子さんもいれば、少し緊張した面持ちで登校するお子さんもあり、それぞれの思いを胸に学校生活をスタートさせています。

入学式を終え、学校生活が始まったばかりの今は、すべてが初めての経験です。無理のない歩みで、ゆっくりと自分のペースで学校生活に慣れていってほしいと願っています。

教職員一同、子どもたちが安心して一日一日を過ごせるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、温かく見守り、丁寧に支えてまいります。



## □■学年総会・懇談会時における確認■□

学年総会・懇談会中の1, 2年生のお子様の待機については、図書室で待機することが可能です。待機する場合には、必ず連絡帳で担任までお知らせください。会終了後、保護者の方が図書室までお迎えに行ってくださいよう、お願いいたします。

また、3年生以上のお子様の待機については、原則として、教職員の見守りがつかないことになっております。1, 2年生と同様に図書室で待機することは可能ですが、待機する場合には、必ず連絡帳で担任までお知らせいただくとともに、会終了後、保護者の方が図書室までお迎えに行ってくださいよう、お願いいたします。

## ◇◇「放課後ルーム」のお知らせ◇◇



葉山小学校において、5月から「放課後ルーム」が始まります。この「放課後ルーム」とは、町教育委員会生涯学習課との連携し、放課後の時間を活用し、地域の方々と協働しながら、子どもたちが安心して学び、過ごせる居場所を提供することを目的としています。まずは「図書ルーム」「モルックルーム」「探究ルーム」からスタートします。詳細につきましては、4月17日（金）に配布予定のチラシをご覧ください。

## ◆◆葉山小の「地域学校協働活動推進員」です◆◆

葉山小では、学校と地域をつなぐコーディネーター役として、元  である  さん  
をお願いしております。また、今年度は、 さんに加え、  
昨年度、 で、 の  
 さんが引き受けて下さることになりました。

これは、本校にとって大変な強みとなります。

このお二人には、学校と地域、さらには保護者へとつなぐ  <  さん > <  さん >  
役割を担っていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

この4月、葉山中学校区（葉山中・葉山小・上山口小・一色小）は、施設分離型の小中一貫校として新たにスタートしました。これに伴い、4月9日（木）に開校式を行いました。

当日は、「Google Meet」で4校をつなぎ、教育長による開校宣言、町長からのご挨拶、そして葉山中学校生徒会長の話がありました。なお、今回は葉山中学校の生徒会が中心となって進行を担いました。

これにより、葉山町では2つの中学校区において、施設分離型の小中一貫教育がスタートすることになります。葉山小学校は、学区の関係で2つの中学校へ進学することから、ご心配に感じていらっしゃる保護者の皆様もおられることと思います。

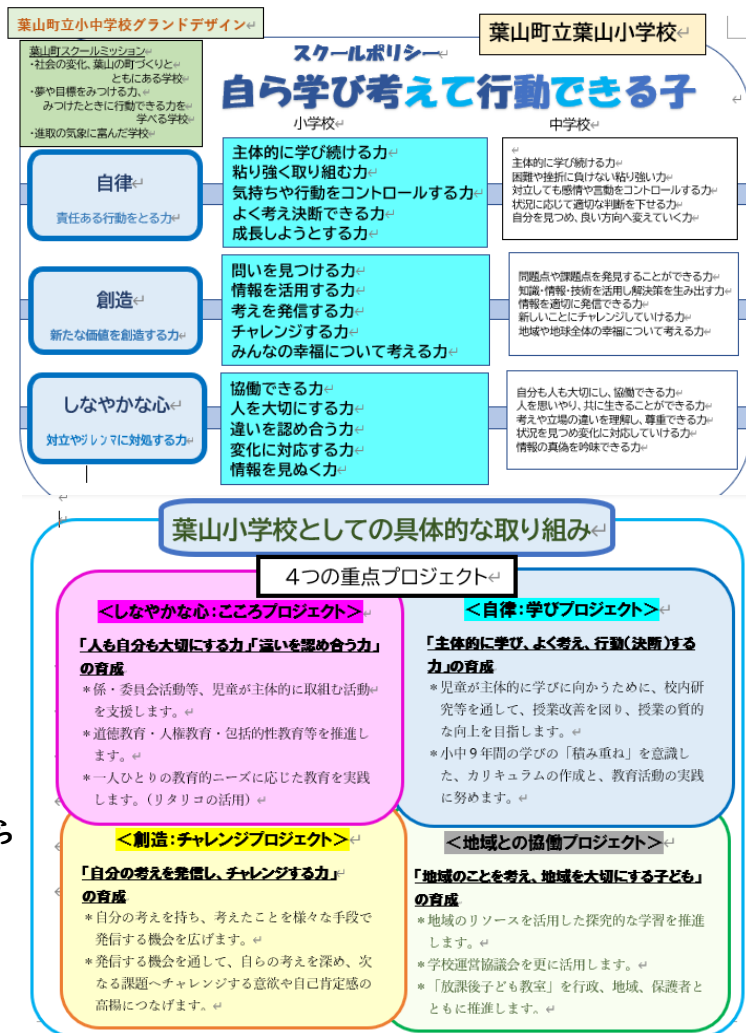
そのような中、町内6校が同じスクールポリシー（学校教育目標）を掲げ、9年間を見通した一貫した教育活動を進めていくこととなりました。どの学校に進んでも、子どもたちが同じ方向性のもとで学びを積み重ねていけるよう、学校間で連携を図りながら教育活動を充実させてまいります。

葉山小学校の子どもたちは、とても素直で、「誰かのためになりたい」「地域とつながりたい」「学校をよりよくしたい」という思いをもち、主体的にチャレンジすることができます。

一方で、「しなやかな心」を育むうえで大切となる「協働する力」「自分や他者を大切にする力」「違いを認め合う力」については、多様性の理解や他者を尊重する言動の面で、さらに伸ばしていく必要があると感じています。

今後は、一人ひとりが「自分らしく」安心して生活できるよう、人権意識の醸成を大切にしながら9年間のつながりを意識した教育活動を進めてまいります。

※右図は、葉山小学校のグランドデザインです。



◎ **しなやかな心 (心プロジェクト)**

⇒最重要項目と捉えています。自分も、他の人も大切にしながら、多様性を認め合える集団づくりを目指します。

※「人権尊重」を象徴するピンクをイメージしました。

◎ **自律 (学びプロジェクト)**

⇒しなやかな心の醸成は、日常の授業から。授業の「質的向上」を目指した校内研究を推進します。

※社会の変化をしっかりと感じ、広い視野を持って学びに向かってほしいという願いを込めて、広大な海のブルーをイメージしました。

◎ **創造 (チャレンジプロジェクト)**

⇒学習したことをアウトプットしやすい環境整備とその機会を設定します。

※児童(教員)がウェルビーイングを感じる願いを込めて、幸せの「黄色」をイメージしました。

◎ **地域との協働プロジェクト**

⇒学校・児童を支える「土台」となるのは、地域です。地域と協働する学びを推進します。

※葉山を象徴する「山」である「緑」をイメージしました。